

平成30年度 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業 検証結果一覧表

○検証方法 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(平成30年7月12日開催)

No	基本目標	分類	事業・施策名	事業・施策概要	事業内容	事業費(千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価	外部有識者による評価等
							指標	指標値	目標年月	実績値		
1	1	①	空き店舗等の有効活用	空き店舗や空き地の積極的な活用により、商工業の振興と街なかの賑わいを創出する。 ○空き店舗情報のデータベース化と情報発信 ○町民の需要に応じた起業者の誘致 ○店舗改修、設備導入及び創業に係る支援(企業振興促進補助事業) ○チャレンジショップの開設	ホームページ等を活用して創業希望者等に支援制度や空き店舗情報の提供	0	空き店舗の活用件数(H27～H31計)	5件	平成32年3月	(参考値) H27～29 5件	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	空き店舗を活用してこれまで5件の事業者が開店したことは有効的であったと思われる。今後もホームページ・チラシ等を活用して創業希望者等に空き店舗情報の提供や町と商工会が連携した相談業務を実施していく。また、チャレンジショップ等の開設についても検討し、創業しやすい環境整備を図る。
2	1	①	新商品の開発と販路拡大支援	地場産品の魅力の増大や企業の新たな取組みに対し支援を行う。 ○地場産品情報の都市圏への発信とマッチングの推進 ○商品開発に係る支援(企業振興促進補助事業) ○農商工連携による商品開発	関東圏を中心に本町の特産品を紹介し販路拡大等につなげようとするために中小企業者等販路拡大事業補助金にて事業者を支援	1,200	新規販路契約事業者数(H27～H31計)	10社	平成32年3月	(参考値) H27～29 5社	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	中小企業者等販路拡大事業補助金を活用した事業者が2社と浸透してきたおり、販路拡大につながったと評価できる。また、新製品開発・新サービス開発に対しても1社補助を受けている状況。今後においても中小企業者のニーズに応えながら各種補助金や等の制度を積極的にPRし、事業者による活性化を図る必要がある。
3	1	①	起業・経営支援	若年層の起業意欲の促進と、企業経営者の積極的な経営施策に対し支援を行う。 ○相談窓口の開設 ○定期的な起業セミナー等の開催 ○起業を応援するための情報発信	産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画を策定し、認定を受けて起業希望者等を対象とした「創業塾」を開催	506	起業創業セミナー参加者(H27～H31計)	50人	平成32年3月	(参考値) H27～29 19人	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	H29年度は「創業塾」の参加者が3名とやや少なかったが、その中から1件の創業者があったことは評価できる。しかしながら参加者が減少傾向にあるため、引き続きセミナーとして継続していくほか、創業者支援に係る補助金等により事業承継等の取組を支援していく必要がある。
4	1	①	6次産業化の推進	地元で収穫又は水揚げされた地場産品の付加価値向上と効率的な出荷を可能とする加工、保管及び出荷に係るシステムを構築する。 ○新技術(設備)の導入等による地場産品のブランド化 ○地産地消や産業間連携の推進支援	6次産業化の取り組み(内部設備の整備、新製品の開発経費)に対して補助を実施	3,126	6次産業化取組件数(H27～H31計)	3件	平成32年3月	(参考値) H27～29 1件	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	6次産業化に取り組む事業者を増加させるため、今後も新たな農林漁業の6次産業化助成制度を活用する者に対し周知、相談業務等を充実させ、地域の特産品を活用した新商品の開発や販路拡大等に継続して支援していく必要がある。
5	1	②	農業従事者の創出	新たな従事者の募集、受入、指導までを一括して行うシステムを構築する。 ○新規就農研修生の雇用と受入農家の確保 ○受入体制の整備	事業実績なし [農業担い手協議会を中心に検討]	0	研修参加者数(H27～H31計)	5人	平成32年3月	(参考値) H27～29 0件	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	農家の担い手は不足していることから、今後も羽幌町農業担い手確保対策協議会を中心に研修生受入の手法と受入農家や新規参入者への各種助成等について協議・検討を進めていく必要がある。

平成30年度 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略登載事業 検証結果一覧表

○検証方法 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(平成30年7月12日開催)

No	基本目標	分類	事業・施策名	事業・施策概要	事業内容	事業費(千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価	外部有識者による評価等
							指標	指標値	目標年月	実績値		
6	1	②	1次産業後継者及び新規就業者等の育成	1次産業に従事する若年労働力の育成と定着化により後継者等を確保する。 ○農地取得等にかかる支援(農業後継者対策事業) ○資機材の整備等に係る支援(漁業新規就業者等育成事業)	○農業後継者育成(事業補助、対象5件) ○漁業新規就業者等育成(事業補助、対象8件)	4,542	農水産業における後継者及び新規就業者(H27～H31計)	20人	平成32年3月	(参考値) H27～29 22人	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	これまで22人の後継者及び新規就業者があったということで有効的と評価できるため、今後においても引き続き農業後継者対策となる農地取得及び賃貸に係る支援、新規漁業者に必要な免許の取得及び漁船の買船や建造、漁業機器の購入経費の一部を支援していく必要がある。
7	1	③	事業承継と雇用のマッチング	働きたい人と働く人を必要とする町内企業等のマッチングを図る。 ○従業員(継承者)を必要とする企業等と就労を希望する方の情報集約とマッチング	事業実績なし [羽幌町中小企業持続化支援事業補助制度(設備の導入・更新、店舗内装改修等に対する補助)や羽幌町雇用促進助成制度、新設の社宅建築促進支援事業等にて支援]	0	マッチング件(店舗)数(H27～H31計)	15件	平成32年3月	(参考値) H27～29 0件	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	事業承継等については、国の制度とともに、今回、新設された羽幌町中小企業持続化支援事業補助金制度を商工会等と連携し周知を図っていく必要がある。また、羽幌町雇用促進助成制度や新設の社宅建築促進支援事業等の活用を促進し、町内企業等のマッチングを図っていく必要がある。
8	1	③	企業誘致及び異業種間連携	本町の環境に適した企業の誘致と本町の地場産品や取組に関心のある企業等との連携事業を展開する。 ○工場等の立地に係る意向調査 ○工場立地に係る支援(企業振興促進事業) ○民間企業や各種学校等との連携による新たな雇用の創出	○企業訪問等に伴う旅費、試供品配布等経費	440	連携する企業等の数(H27～H31計)	5社	平成32年3月	(参考値) H27～29 4社	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	現在連携している札幌ベルエポック製菓調理専門学校や酪農学園大学、神奈川県海老名市等については、有効的に連携が図られていると評価できることから引き続き継続して連携を図ることとし、今後、北海道日本ハムファイターズとパートナー協定を結び、ファイターズが持つ資源や取組を活用した連携事業を行っていくことが必要。
9	1	③	雇用機会の拡充	既存企業における新規及び正規雇用を拡大する。 ○常用パート及び新規雇用に係る支援の継続と支援対象者(障がい者)の拡大(雇用促進助成事業)	○雇用促進助成事業による補助(補助金交付対象企業数及び人数 15社・21人)	7,320	新規雇用拡充数(H31補助決定者数)	20人	平成32年3月	(参考値) H29 7人	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	新規雇用を促す制度として企業等に定着し、H29年度は7人の実績があり一定の効果が生まれている。今後は新設の社宅建築促進支援補助金の活用促進と併せて、雇用する側に対し助成を行うことで、雇用機会の拡大及び雇用環境の充実を図る必要がある。

平成30年度 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業 検証結果一覧表

○検証方法 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(平成30年7月12日開催)

No	基本 目標	分類	事業・施策名	事業・施策概要	事業内容	事業費 (千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価	外部有識者による評価等
							指標	指標値	目標年月	実績値		
10	2	①	既存資源の活用	活用可能な財産を居住拠点及びその資源として有効に活用する。 ○公共施設等解体跡地の宅地としての売却 ○空き家対策計画の推進(空き家バンクの運営) ○民間賃貸住宅情報の提供	○空き家バンクの運営(空き家バンク契約成立件数3件) ○空家対策補助制度(補助制度により改修件数4件)	1,500	空き家利用戸数(H27~H31計)	30戸	平成32年3月	(参考値) H27~29 16戸	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	空き家バンク制度及びH28より空家対策補助金(改修または解体)が事業化され、空き家を購入または賃貸により活用しようとする動機づけにつながった。今後も継続して制度概要を幅広く周知し、空き家等の利活用の促進を図る必要がある。また、公共施設跡地についても、宅地として利用可能なものは積極的に売り払いを行っていく必要がある。
11	2	①	新たな住宅の整備	公営住宅の建設や単身及び世帯向けなど需要に応じた集合住宅の建設を促進する。 ○公営住宅の計画的な建設 ○集合住宅の建設に係る支援(民間賃貸住宅建設助成事業)	○公営住宅建設工事 ○民間賃貸集合住宅建設促進助成金(制度活用:1棟3戸)	95,873	民間賃貸住宅建設戸数(H27~H31計)	30戸	平成32年3月	(参考値) H27~29 23戸	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	民間賃貸集合住宅建設助成制度については、これまで2棟7戸活用があり有効的と評価できる。今後も利用しやすい制度となるよう需用状況を確認しながら継続して民間活力を生かした住宅の整備を促進していく必要がある。
12	2	②	魅力ある地域の創出	本町が有する豊かな自然、豊富な食材、地域特性を売りに、知名度向上と交流人口の拡大を図る。 ○従事者の意識向上及びコーディネーター等の育成 ○観光施設(自然公園(天売島・焼尻島)、道の駅(はぼろ温泉、パラ園)等の整備と適正管理 ○地場産品(甘エビ、うに、めん羊等)や観光資源を活用した観光交流イベントの実施 ○日本唯一の海鳥専門施設「北海道海鳥センター」を核とした自然環境に特化した研究事業等の実施 ○焼尻めん羊牧場の安定経営による地域産業としての持続	○各種イベント開催に係る補助、観光団体への補助、観光施設等の維持に係る修繕料・工事費、いきいき交流センター運営に係る費用(指定管理料)、めん羊牧場維持管理に係る費用(指定管理料)	90,034	イベント満足度(H28~H31平均値)	80%	平成28~31年の平均	(参考値) H29 86.6%	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	魅力ある地域とするため、観光施設の維持管理及び「はぼろ甘エビまつり」「天売ウニまつり」「焼尻めん羊まつり」等の各種イベントについては満足度も高く、継続して実施していく必要がある。また、焼尻めん羊牧場については、酪農学園大学との連携による技術提供や草地改良など、安定した生産体制を構築し、良質な種畜の供給と羊肉の提供を図る必要がある。
13	2	②	情報発信と宣伝普及活動の強化	宿泊者等の町内滞在者及び町外への情報発信に必要な素材の充実と積極的なPR活動を実施する。 ○様々な媒体や機会を活用したPR活動の実施 ○広域による都市圏や他地域との交流事業の推進	○PR時試供品等、職員旅費、消耗品、印刷製本費、通信運搬費、手数料、保険料、使用料及び借上料、事業実施に係る外部委託、観光団体への補助	2,938	札幌市近郊及び都市圏を対象とした宣伝事業実施回数(H31数値)	12回	平成32年3月	(参考値) H29 19回	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	道内外の主要都市においてPR事業を実施しており、集客数や来町者の意見等から効果は高いと評価できる。今後においてもPR効果の高い手法等を模索しながら継続して実施していくほか、首都圏催事での特産品販売を通じた観光誘客にも積極的に取り組む必要がある。

平成30年度 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業 検証結果一覧表

○検証方法 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(平成30年7月12日開催)

No	基本目標	分類	事業・施策名	事業・施策概要	事業内容	事業費(千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価	外部有識者による評価等
							指標	指標値	目標年月	実績値		
14	2	③	誰もが参加できる機会の創出	健康増進や心の豊かさを育成する事業を実施し、かつ、必要な後継者への伝承活動を実施する。 ○各種スポーツ事業の充実 ○伝統芸能の普及と伝承	○文化、体育団体への補助 ○郷土芸能団体保存育成事業への補助	2,948	社会教育イベント参加者数(H31参加者)	6,200人	平成32年3月	(参考値) H29 4,980人	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	各事業ごとに成果のバラツキがあることから、今後においてもニーズを的確にとらえながら各種社会教育事業を実施していく必要がある。
15	2	④	出会いの機会への支援	人口ビジョンで明らかにされた比率の高い独身男性に対する出会いのきっかけづくりを支援する。 ○婚活関連事業に係る参加支援	○留萌管内結婚支援協議会への参加旅費	2	事業参加独身男性数(H27～H31計)	150人	平成32年3月	(参考値) H27～29 7人	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	出会いの機会への支援については継続していく必要があるが、婚活イベント等については当事者の意欲が高まるよう、経過を踏まえ再検討する必要がある。また、当町に見合った効果の高いとされる取組を検討する必要がある。
16	2	⑤	地域おこし協力隊事業	都市圏等他地域から本町で必要とされる新たな人材を招聘する。 ○地域おこし協力隊事業	○協力隊(H29:4名)の報酬、旅費、車両借上料等の協力隊に係る経費 ○協力隊活動助成金 ○協力隊起業支援補助金	14,293	協力隊員定住率(H31数値)	60%	平成32年3月	(参考値) H29 40%	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	2名が離島にて定住するなど、事業としては、うまく機能していると評価できる。今年度採用される方の活動に期待するとともに、継続して定住に向けた支援を図る必要がある。
17	3	①	シングルマザーの転入誘致	子育てしやすい環境を創出し、シングルマザーの転入を促進するための受け皿を構築する。 ○各種支援制度の構築と居住環境の整備	移住募集チラシ作成、雑誌掲載委託料、WEB掲載委託料、シングルマザー支援団体への情報提供等	2,037	受入体制構築度(H31数値)	100%	平成32年3月	(参考値) H29 100%	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	相談件数が7件と、対象者からのニーズがある事業であり、1世帯の移住実績もあることから、移住された方の意見も反映しながら今後も受入れ体制を強化し、シングルペアレントの移住を促進していく。また、ホームページへの掲載等により広く周知を行い移住者の確保を図る。
18	3	②	出産までの支援	子どもをつくりやすい環境づくりを促進する。 ○妊娠(不妊治療含む)・出産に係る費用及び精神的支援 ○出産祝い品の贈呈	○めん羊布団製作委託費、保健師による妊産婦との面談等経費、妊産婦健診や出産時に係る助成等	4,458	合計特殊出生率(H31数値)	1.66	平成32年3月	(参考値) H29 1.21	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	新生児に対する布団の贈呈や保健師による相談業務のほか、妊産婦健診及び出産に係る経費の一部助成については当町に出産可能な医療機関がないことから、今後も継続して実施していく必要がある。

平成30年度 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業 検証結果一覧表

○検証方法 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(平成30年7月12日開催)

No	基本 目標	分類	事業・施策名	事業・施策概要	事業内容	事業費 (千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価	外部有識者による評価等
							指標	指標値	目標年月	実績値		
19	3	②	子育て環境の支援	子育て世代が望む時代にあった子育てのしやすい環境を整える。 ○子育て世代の誰もが望む集いやすい環境の整備 ○相談(発達、育児等)及び保育機能等(一時預かり、遊びの場の提供等)の充実 ○子ども達に係る医療費の負担軽減	○認定こども園、私立幼稚園運営支援補助、保育園運営費、中学生以下医療費、一時預かり経費	149,081	子育てしやすい満足度(H31数値)	50%	平成32年3月	(参考値) H29 -	(現段階の施策の方向性として)有効的である	認定こども園、私立幼稚園の特色ある取組により幼年時教育に対する保護者の需要は満たされている。また、乳幼児の発育に係る相談等を実施し、保護者の不安解消に努めているほか、中学生以下の医療費無償制度についても、子育てする保護者の負担軽減に効果が出ていると評価できる。今後も、子育て支援センターを核に子育て支援を継続して実施していく必要がある。
20	4	①	地元高校への進学者確保	地元高等学校の魅力向上と通学しやすい環境作りに努め、町内外からの進学者を確保する。 ○高等学校の魅力化支援 ○高等学校進学に係る経済的支援 ○奨学金制度の拡充 ○道内外中学校等に向けた宣伝PR	○高等学校魅力化支援事業補助、高等学校進学に係る経済的支援、奨学金貸付金、天売高等学校生徒募集事業経費	45,694	町内中学生の町内高校への進学率(H31)	80%	平成32年3月	(参考値) H29 70%	(現段階の施策の方向性として)有効的である	地元高校への支援事業、進学に係る経済的支援や貸付事業等については継続して実施する。また、天売高校の島外からの生徒募集については、受入れ体制について下宿施設を整備し、H29年度は2名の入学者があった。今後も生徒募集事業を引き続き継続して実施していく必要がある。
21	4	②	児童生徒の学ぶ機会の充実	学習や体験学習の場の充実及び拡大を図り、魅力ある学びを提供するとともに郷土愛を育む校外活動を促進する。 ○子ども自然教室事業 ○ジュニアレンジャー事業	○子ども自然教室事業経費	164	自然教室平均参加率(H31)	65%	平成32年3月	(参考値) H29 54.8%	(現段階の施策の方向性として)有効的である	自然教室については、自然を親しむ機会を望む児童やその保護者に好評であることから継続して実施していく必要がある。ジュニアレンジャーについては、自然教室等との連携を視野に入れて検討する必要がある。
22	4	③	人づくり事業	地域活動等に従事する町民の中から将来のまちづくりを担う人材を育成するとともに、地域医療を支え志す将来の医療従事者(人材)を育成する。 ○研修活動等に係る支援(人づくり事業) ○地域医療に従事する看護師等の育成(助産師・看護師確保対策事業)	○人づくり事業補助(12件) ○助産師・看護師等修学資金貸付(0件)	2,863	補助決定件数(地域活動)(H27～H31計)	50件	平成32年3月	(参考値) H27～29 21件	(現段階の施策の方向性として)有効的である	人づくりに係る各種補助金や貸付金等については、制度概要等の周知を図り、利用率の向上に努めるとともに、動向を確認しつつ利用しやすい制度となるよう必要に応じて改正等を検討しながら継続して実施していく必要がある。
							貸付決定件数(医療従事)(H27～H31計)	10件	平成32年3月	(参考値) H27～29 6件		

平成30年度 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業 検証結果一覧表

○検証方法 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(平成30年7月12日開催)

No	基本目標	分類	事業・施策名	事業・施策概要	事業内容	事業費(千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価	外部有識者による評価等
							指標	指標値	目標年月	実績値		
23	4	④	若年層の学習及び交流機会の充実	若い世代の余暇活動の充実に努める。 ○若年層を対象とした社会教育事業	○成人教育等講座開催経費	314	事業実施回数(H31数値)	9回	平成32年3月	(参考値) H29 10回	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	H29年度は19名の若年層の参加があり、有効的であったと評価できる。また、アンケート結果をもとに、若年層のニーズ等を的確に捉えた上で若年層の参加しやすい学習の場と交流機会の充実に努める必要がある。
24	4	⑤	介護向け人材の育成	高齢社会に向けた人材の育成及び確保に努める。 ○高校生と介護職員の交流事業 ○介護知識向上のための研修会等の開催 ○介護職員の給与等の底上げの実施	○ケアマネージャーの交流及び技術向上等を目的とした研修会の実施(5回) ○資格取得に係る経費の助成(資格更新:2件 資格取得:4件)	460	交流会及び研修会実施回数(H31数値)	2回	平成32年3月	(参考値) H29 5回	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	ケアマネージャーの交流及び技術向上等を目的とした研修会は継続して実施する。また、介護職員の資格取得等については実習が伴うこととなりハードルも高くなることから、費用助成制度について継続し受験者の負担軽減に努める必要がある。
25	4	⑤	高齢者向け生きがい対策	高齢者の居場所、活躍の場の確保に努める。 ○老人クラブ活動事業	○高齢者団体補助	1,282	老人クラブ組織数(H31数値)	9団体	平成32年3月	(参考値) H29 9団体	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	高齢者が集い生きがいや健康づくりに活発に取り組む老人クラブの活動を支援することで、明るい長寿社会づくりが図られている。今後も、単位クラブの組織数維持や新規会員の勧誘に対するの助言指導など活動の支援に努めていく必要がある。
26	4	⑥	公共施設の適正管理	保有する公共施設の老朽度や利活用状況に応じて、当該施設や関連地域の在り方を見直し、町民サービスの維持又は向上に努めるもの。 ○公共施設マネジメント事業の推進	○公共施設マネジメント計画に基づき施設管理等の実施	882,750	計画に基づく事業進捗率(H31数値)	100%	平成32年3月	(参考値) H29 33.3%	(現段階の施策の方向性として) 有効的である	公共施設マネジメント計画を基に、羽幌小学校の建替えをはじめ各施設の大規模改修及び除却を実施し、進捗状況は33.3%と有効的と評価できる。今後は、総合体育館の大規模改修及び武道館機能の複合化、天売総合施設建設、中央小学校校舎の除却なども、計画に基づき推進していく必要がある。

平成30年度 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略登載事業 検証結果一覧表

○検証方法 羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(平成30年7月12日開催)

No	基本 目標	分類	事業・施策名	事業・施策概要	事業内容	事業費 (千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価	外部有識者による評価等
							指標	指標値	目標年月	実績値		

【羽幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標・施策一覧】

1

国目標	地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
町目標	活発な産業づくりにより元気なまちを創生する
施策 分類	① チャレンジ(起業・創業・第2創業等)支援事業
	② 一次産業就業者等拡大事業
	③ 雇用環境支援事業

2

国目標	地方への新しいひとの流れをつくる
町目標	多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する
施策 分類	① 居住拠点整備事業
	② 資源活用事業
	③ スポーツ・文化交流事業
	④ 出会いの場提供事業
	⑤ 人材招聘事業

3

国目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
町目標	子育てのしやすい優しいまちを創出する
施策 分類	① シングルマザー支援事業
	② 子ども・子育て支援拡充事業

4

国目標	時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。
町目標	住み続けたいと思うまちを創生する。
施策 分類	① 高等学校魅力向上事業
	② 学校外活動充実事業
	③ 人材育成事業
	④ コミュニティ醸成事業
	⑤ 福祉環境充実事業
	⑥ 小さなまちづくり事業